

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	チーム医療論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	通年	教室名	視聴覚室・講堂
担 当 教 員	早川 直美	実務経験と その関連資格	総合病院、開業医で助産師として勤務、受胎調節実地指導員			
《授業科目における学習内容》						
チーム医療における看護師の役割と責任について理解し、他職種で連携、協働して医療を実施することの重要性を学び、その連携から最良の結果を求めるために、講義と連携授業を通してチーム医療の必要性和コミュニケーション力を身につける。						
《成績評価の方法と基準》						
出席状況並びにグループワーク・課題レポート、課題提出状況にて総合的に判断する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 専門分野 基礎看護学1 看護学概論 医学書院 系統看護学講座 専門分野 看護管理 看護の統合と実践1 医学書院 (参考図書)実践チーム医療論 実際と教育プログラム 医歯薬出版株式会社						
《授業外における学習方法》						
事前課題や配布資料を読みグループワークのできる準備をする						
《履修に当たっての留意点》						
グループワークがあるため積極的に意見交換ができるように事前準備をしっかりとすること						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療の概念と意義について説明することができる	テキスト 配布資料 AV機器	資料を読み予習する。 授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	1.チーム医療の概念と意義			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	各専門職が担う役割と機能(看護師の立場から)について説明することができる	テキスト 配布資料 AV機器	資料を読み予習する。 授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	2.各専門職が担う役割と機能(看護師の立場から)			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	各専門職が担う役割と機能(看護師の立場から)について説明することができる	テキスト 配布資料 AV機器	資料を読み予習する。 授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	3.各専門職が担う役割と機能(他職種)			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	各専門職の役割を通して他職種のあるべき連携と協働について説明することができる。	テキスト 配布資料 AV機器	資料を読み予習する。 授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	4.各専門職の役割を通して他職種のあるべき連携と協働について手 チーム医療の実際			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	連携授業により他職種連携、チーム医療重要性を理解することができる	テキスト 配布資料 AV機器	資料を読み予習する。 授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	5.連携授業:理学療法士学科			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	連携授業により他職種連携、チーム医療重要性を理解することができる	テキスト 配布資料 AV機器	資料を読み予習する。 授業内容をまとめ復習する。
		各コマにおける授業予定	6.連携授業:理学療法士学科		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	グループワークで積極的に意見交換ができ考えをまとめることができる。	テキスト 配布資料 AV機器	資料を読み予習する。 授業内容をまとめ復習する。
		各コマにおける授業予定	7.事例検討		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	自己が考える連携と協働について、レポート作成することができる	テキスト 配布資料 AV機器	事前にレポートが作成できるように資料を準備する
		各コマにおける授業予定	8.自己が考える連携と協働について、レポート作成		